

## 支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和5年年 3 月 17 日

地区名	川中島全地区
事業名	川中島地区俳諧調査研究・普及事業
団体名及び 代表者名	(団体名) 川中島町句碑・俳額研究会 (代表者名) 竹村昌男 (連絡先) 川中島町御厨 195-75

## ■事業概要

1 事業目的 西村心随（素時雨）（川中島御厨出身、文化文政時の俳人）の業績及び追善集の解説し、冊子にまとめた。さらに『川中島平の句碑・俳額』等の資料から地区の江戸後期の文化活動について明らかにし、視察研修をおこなった。	【事業完了日】 令和5年3月10日
2 事業内容 令和4年5月から令和5年3月にかけて研究調査のため8回の全体研究会を開催した。また『散華集』解説のため解説委員会を組織し、12回の会合をもった。また俳人調査委員会を組織し4回の会合をもった。 その結果『矢羽勝幸・監修 西村心随追善句集『散華集』川中島町句碑・俳額研究会編』（以下『心随句集編』という）（添付冊子参照）を刊行した。その間二松学舎大学客員教授の矢羽勝幸先生により『散華集』解説の監修を受けた。 また川中島町住民に江戸後期の俳諧の活動を理解してもらうため、川中島町住民自治協議会の広報紙「あいの島たうん」の特別号（回覧）発行し、御厨地区の史跡視察見学を11月11日に行い20名の参加をえた。（資料添付） 令和5年3月4日新刊冊子の研究発表及び講演会を開催し75名の出席者があった。その間「あいの島たうん」の特別号を御厨区・神田区は全戸配布をし、他の10区には回覧とし発行した。発表会と講演会は信毎、週刊長野、市民新聞においても取り上げ大きく記事を掲載した。（添付参照）	【総事業費】 419,033 円 【補助金額】 235,000 円

## 【活動写真】

1 研究会活動の写真2葉添付	
2 視察見学の写真3葉添付	
3 発表会及び講演会の写真4葉添付	

※資料等ある場合は添付する。資料集添付

- 川中島町句碑・俳額研究会研究活動資料集及び新聞記事添付
- 『矢羽勝幸監修 西村心随追善句集『散華集』川中島町句碑・俳額研究会』1冊添付

## ■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

<p>西村心随追善句集『散華集』を解説し、調査をする中で川中島町句碑・俳額研究会会員の理解が進み、江戸後期の川中島地区の俳諧を知り、御厨地区の視察見学により地区の文化遺産に興味関心が深まった。『心随句集編』が出句者659名、俳人数511名の多数であること。川中島地区の出句者がそのうち約130名になることを調査で知らしめた。北信を中心とする宗匠のほとんど、その門下生による出句であることを記述し、善光寺平俳諧の隆盛を冊子で知らしめた。</p> <p>発表会が70名強の参加者により盛大に開催することができたことは北信一帯の俳句同行者に大きな影響を与えることが出来た。具体的には『心随句集編』が100部印刷し、贈呈を除き当日完売した。</p>
--

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の実施	○			
事業の効果	○			
特記事項 （評価理由等）	西村心随追善句集『散華集』を解説し、その句集の質の高さと当時の北信一帯の俳人が出句されていることを知り、視察見学や冊子を刊行したこと。そして川中島地区の人々が文化的意義を理解したこと。具体的にはコロナ禍の中で、発表講演会が多数の参加者により成功裡に終了した。			

■今後の取組予定

川中島町句碑・俳額研究会は文化文政以後の文化遺産である俳諧（俳句）を地域に知っていただくこと、地域の俳人を発掘することを目標にしてきた。今まで『川中島平の句碑・俳額』、蓮香寺の一茶句碑建立を、そして今回の『心随句集編』刊行に続いて川中島地区の文化遺産の理解に活動を取り組みたい。